

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 1 区分

【発行日】平成24年12月13日 (2012.12.13)

【公開番号】特開2012-50446(P2012-50446A)

【公開日】平成24年3月15日 (2012.3.15)

【年通号数】公開・登録公報2012-011

【出願番号】特願2011-214349(P2011-214349)

【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

C 1 2 N 1/15 (2006.01)

C 1 2 N 1/19 (2006.01)

C 1 2 N 1/21 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/54 (2006.01)

C 0 7 K 16/24 (2006.01)

C 1 2 N 15/02 (2006.01)

C 0 7 K 16/46 (2006.01)

C 1 2 N 5/078 (2010.01)

C 1 2 N 5/0786 (2010.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/06 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 7/06 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 3/10 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A

C 1 2 N 1/15

C 1 2 N 1/19

C 1 2 N 1/21

C 1 2 N 5/00 1 0 1

C 0 7 K 14/54

C 0 7 K 16/24

C 1 2 N	15/00		C
C 0 7 K	16/46		
C 1 2 N	5/00	2 0 2 J	
C 1 2 N	5/00	2 0 2 N	
C 1 2 Q	1/02		
A 6 1 K	39/395		N
A 6 1 K	37/02		
A 6 1 P	37/06		
A 6 1 P	25/00		
A 6 1 P	21/04		
A 6 1 P	1/04		
A 6 1 P	1/16		
A 6 1 P	7/06		
A 6 1 P	7/04		
A 6 1 P	3/10		
A 6 1 P	15/00		
A 6 1 P	9/00		
A 6 1 P	17/00	1 0 1	
A 6 1 P	19/02		
A 6 1 P	29/00		
A 6 1 P	29/00	1 0 1	
A 6 1 P	37/02		
A 6 1 P	21/00		
A 6 1 P	17/06		
A 6 1 P	17/02		
A 6 1 P	35/00		
C 1 2 P	21/08		

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月27日(2011.10.27)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

配列番号 7 で表されるアミノ酸配列からなる - イソ型の IL - 3 2 をコードする精製核酸。

【請求項 2】

配列が異種プロモーターに機能し得る形で連結されている請求項 1 に記載の核酸。

【請求項 3】

核酸がベクター内に含まれている請求項 2 に記載の核酸。

【請求項 4】

請求項 3 に記載のベクターを含む宿主細胞。

【請求項 5】

請求項 1 の核酸によりコードされる精製タンパク質。

【請求項 6】

IL - 3 2 が細菌細胞、酵母細胞、昆虫細胞及び哺乳動物細胞からなる群から選択される細胞において発現される組換えタンパク質である請求項 5 に記載のタンパク質。

【請求項 7】

組換えタンパク質が融合タンパク質である請求項 6 に記載のタンパク質。

【請求項 8】

請求項 5 に記載のタンパク質に結合する抗体。

【請求項 9】

抗体がモノクローナル抗体である請求項 8 に記載の抗体。

【請求項 10】

請求項 9 に記載のモノクローナル抗体の Fab 断片。

【請求項 11】

モノクローナル抗体がヒト化モノクローナル抗体である請求項 9 に記載のモノクローナル抗体。

【請求項 12】

モノクローナル抗体が標的細胞による IL - 32 誘導 TNF 産生を抑制する請求項 9 に記載のモノクローナル抗体。

【請求項 13】

モノクローナル抗体が標的細胞において IL - 32 誘導 I B 分解を抑制する請求項 9 に記載のモノクローナル抗体。

【請求項 14】

モノクローナル抗体が標的細胞において迅速な IL - 32 誘導 p38 MAPK リン酸化を抑制する請求項 9 に記載のモノクローナル抗体。

【請求項 15】

少なくとも 1 つの細胞を TNF 産生を誘導するのに適した条件下で IL - 32 タンパク質と接触させることを含む TNF 産生の誘導方法。

【請求項 16】

IL - 32 タンパク質が - イソ型、 - イソ型、 - イソ型及び - イソ型からなる群から選択される請求項 15 に記載の方法。

【請求項 17】

少なくとも 1 つの細胞が白血球を含む請求項 15 に記載の方法。

【請求項 18】

白血球が単核及びマクロファージからなる群から選択される請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

自己免疫疾患の治療のための医薬の製造における請求項 8 に記載の抗体の使用。

【請求項 20】

自己免疫疾患が多発性硬化症、重症筋無力症、自己免疫性神経障害、自己免疫性ぶどう膜炎、クローン病、潰瘍性大腸炎、原発性胆汁性肝硬変、自己免疫性肝炎、自己免疫性溶血性貧血、悪性貧血、自己免疫性血小板減少症、1 型糖尿病、グレーブス病、橋本病、自己免疫性卵巣炎及び睾丸炎、側頭動脈炎、抗リン脂質症候群、脈管炎、ベーチェット病、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、強皮症、多発性筋炎、皮膚筋炎、脊椎関節症、シェーグレン症候群、乾せん、疱疹状皮膚炎、尋常性天疱瘡及び白斑からなる群から選択される請求項 19 に記載の使用。

【請求項 21】

抗体がヒトモノクローナル抗体及びヒト化マウスモノクローナル抗体からなる群から選択される請求項 19 に記載の使用。

【請求項 22】

a) 請求項 5 に記載の IL - 32 タンパク質及び少なくとも 1 つの薬物候補を用意すること、

b) 前記 IL - 32 タンパク質によって誘導される TNF 発現の上方制御に対する前記薬物候補の効果を分析すること
を含む IL - 32 阻害剤のスクリーニング方法。

【請求項 23】

薬物候補が I L - 3 2 反応性モノクローナル抗体及び I L - 3 2 ドミナントネガティブミュータントからなる群から選択される請求項 2 2 に記載の方法。

【請求項 2 4】

癌を治療するための医薬の製造における請求項 5 に記載の I L - 3 2 タンパク質の使用。